

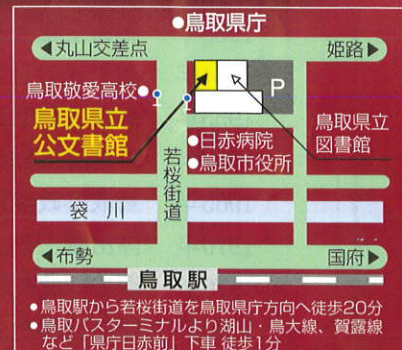
さわ だ れん ぞう み き 澤田廉三と美喜の時代

— 鳥取県が生んだ偉大な外交官の足跡 —



写真提供／影山智洋氏（影山写真事務所）

会期 平成20年 **10月17日(金)～11月23日(日)**
午前9時～午後5時 会期中無休 **入場無料**
場所 **鳥取県立公文書館 1階** (展示コーナー)



お問い合わせ 鳥取県立公文書(鳥取市尚徳町101) TEL 0857-26-8160
E-mail kobunsho@pref.tottori.jp
ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho/>

この用紙は再生紙を使用しています

記念講演会
入場無料

とき／11月8日(土) 午後2時～4時
講師／酒井哲哉氏(東京大学教養学部教授)
演題／昭和の外交官の系譜—澤田廉三の軌跡—
場所／鳥取県立図書館2階(大研修室)

巡回展
入場無料

会期／11月29日(土)～12月21日(日)
午前9時～午後5時 会期中無休
場所／岩美町中央公民館(岩美町浦富1038-6)
電話／0857-72-0510

澤田 廉三 [さわだ れんぞう：明治21年（1888） - 昭和45年（1970）]

大正3年（1914）から外交官として活躍した。フランスを中心に、アルゼンチン、中国、イギリス、アメリカなどに赴任する。昭和28年（1953）、特命全権大使として在ニューヨーク国際連合日本政府代表に選ばれ、昭和31年（1956）の日本の国際連合加盟に貢献した。また、昭和40年（1965）から亡くなるまで鳥取県の県政顧問を務め、県政の発展にも寄与した。

澤田 美喜 [さわだ みき：明治34年（1901） - 昭和55年（1980）]

三菱財閥3代目岩崎久弥の長女として生まれる。大正11年（1922）に、外交官の澤田廉三と結婚し、4人の子供に恵まれた。戦後、混血孤児たちの保護・養育施設であるエリザベス・サンダースホームを創設し、2千人近くの孤児を育て上げた。

略年譜

- 1888年 鳥取県岩井郡浦富村（現岩美郡岩美町浦富）に漁業澤田信五、久子の三男として生まれる。旧制鳥取中学校（現鳥取県立鳥取西高等学校）、第一高等学校を経て、東京帝国大学法科大学仏法科を卒業する。
- 1908年 兄澤田節蔵、外交官及び領事館の試験に合格し、翌年外務省に入省する。
- 1914年 外交官及び領事官の試験に合格し、外務省に入省する。
- 1922年 三菱財閥3代目岩崎久弥の長女美喜と結婚する。
- 1923年 アルゼンチン・ブエノスアイレスへ転任する。長男・信一誕生。
- 1924年 北京へ転任する。二男・久雄誕生。
- 1925年 三男・晃誕生。
- 1927年 日本に帰国し、宮内省御用掛となる。
- 1928年 長女・恵美子誕生。
- 1931年 ロンドンへ転任する。
- 1933年 パリへ転任する。
- 1935年 ニューヨークへ転任する。兄節蔵、ブラジル大使となる。
- 1936年 満州国大使館参事官となる。
- 1938年 外務省事務次官に就任する。
- 1939年 駐フランス特命全権大使となる。
- 1943年 駐ビルマ特命全権大使となる。
- 1944年 外務省事務次官に就任する。
- 1945年 外務省嘱託となる。
- 1948年 美喜がエリザベス・サンダースホームを創立する。
- 1953年 特命全権大使として在ニューヨーク国際連合日本政府代表となる。
- 1954年 国際連合日本政府代表部長となる。
- 1955年 外務省顧問に就任する。
- 1957年 外務省顧問を辞任する。
- 1965年 鳥取県政顧問に就任する。
- 1970年 澤田廉三死去。
- 1976年 澤田節蔵死去。
- 1980年 澤田美喜死去。

（参考文献：澤田廉三先生遺稿集『随感随筆』）